

NEWS 1

良質米出荷に向けて



出荷する水稻苗を積み込むJA職員

13 気候変動に
具体的な対策を

15 陸の豊かさも
守ろう

営農・販売 × 自己改革

実践中

生産指導に力入れる

富士宮育苗センターでは、4月6日から5月中旬に水稻苗4品種2万2000枚を出荷しました。栽培品種の選択を広げるため、昨年度に続き高温耐性と耐倒伏性に優れたうるち米品種「にじのきらめき」の供給を継続。今後も生育状態に応じた現地指導などで農家組合員の皆さまに寄り添ったサポートを行います。【詳細は2ページのお知らせをご覧ください】

NEWS 2

う宮～な出荷用に「非破壊糖度計」導入!

農業のために 地域のために 明日のために
JA共済の
地域貢献活動
©2017 JA-KYOSAI

8 働きがいも
経済成長も

15 陸の豊かさも
守ろう



非破壊糖度計で糖度を測る
う宮～なの矢澤優輔課長

見える化で価格反映や有利販売に

ファーマーズマーケット「う宮～な」は、JA共済の「地域・農業活性化促進助成金」を活用し、出荷者向けに柑橘(かんきつ)用とスイカ用の2種類の「非破壊糖度計」を新たに導入しました。同機械は、果実の表面に当てただけで糖度が測定でき、出荷者は自信をもって値付けに生かせるほか有利販売も期待できます。さらに消費者も安心して購入できるので、CS(顧客満足度)向上にもつながります。出荷時に利用できるよう、バックヤードに備えていますので、ご活用ください。

★スマート農業活用の助成事業がスタート!

富士宮
地区限定

農家組合員の皆さまの労力軽減として、本年度から富士宮地区独自の助成事業を導入しました。ご希望の方は下記までお問い合わせください。(助成金額は1世帯あたり年間5万円まで)

| 支 援 事 業 | 対 策 名 | | 助 成 内 容 | | 助 成 率 | | |
|---------|------------------|------------------|--|-----------|--------------------|-------------------|-------------------|
| | スマート農業 活用支援対策 | スマート農業 活用支援対策 | スマート農業の導入に かかる費用の一部を助成 ※スマート農業機器の購入または 農業用ドローンによる農業 等の散布の事業が対象 | 購入 | 費用(税抜)の10% ※上限3万円 | 費用(税抜)の10% ※上限3万円 | 費用(税抜)の10% ※上限3万円 |
| | | | | 散布(肥料農薬等) | 1,000円/10a ※上限1万円 | | |
| | | | | 散布(遮光剤等) | 10,000円/10a ※上限5万円 | | |

【申し込み・問い合わせ】 富士宮宮農経済センター ☎0544-58-7182

老後の備えとして 国が支える 積立方式で安心

農業者年金

次の3つの要件を満たす方であれば、どなたでも加入できます。

- 年間60日以上 農業従事
- 国民年金1号 被保険者
国民年金保険料 納付免除者を除く
- 60才未満
※60歳以上65歳未満でも、
年間60日以上農業に
従事し、国民年金任意
加入者なら可。

●積立方式で安心
●加入・脱退も自由
●保険料は全額社会保険料控除
●保険料はいつでも変更できる
●農業の担い手には保険料補助
●終身年金80歳までの死亡一時金あり

お問い合わせ
独立行政法人農業者年金基金
電話:03-3502-3942(企画調整室)
電話:03-3502-3199(専門相談員)
JAふじ伊豆
富士宮宮農経済センター地区営農課
電話:0544-58-7182

富士・富士宮地区組合員の皆さまへ

日帰り夏のバスツアー

中央アルプス・駒ヶ岳 ロープウェイ乗車・
千畳敷カール・遊歩道 散策

旅行実施日 2025年8月7日(木)
旅行代金 16,500円
お一人様(中学生以上) 小学生 10,000円・
幼児料金はお問い合わせください

富士宮地区経由!
例年 8月初旬・カール内は高山植物のお花畑が見ごろです。
ご昼食はお弁当をご用意させていただきます。

コース内容
・富士宮地区本部からバス出発!途中で休憩を取りながら中央アルプス・木曾駒ヶ岳に向かいます。
・シャトルバスに乗り換え、しらび平駅から駒ヶ岳ロープウェイに乗車し、約8分の空中散歩。
・到着後は標高2,612m「千畳敷カール」の散策をお楽しみいただけます。散策後はショッピングの時間もございます。

「千畳敷カール」とは?
氷河時代の浸食でできた地形で、例年8月初旬は高山植物のお花畑が見頃です。
※8月の千畳敷カールの平均気温は約14度です。長袖シャツやズボン、運動靴や雨具のご準備が必要となります。

お問い合わせ
静岡県知事登録旅行業者代理業第113号
JAふじ伊豆旅行センター ☎055-963-2618
【営業時間】8:30~17:00 【定休日】土・日・祝日

資産相談業務窓口の変更のお知らせ

富士宮地区では、4月1日から資産相談業務を富士宮宮農経済センター(地区組織課)に移転しました。営農部門に窓口を置くことで、農家組合員の皆さまの相談体制の充実や利便性の向上につなげます。

担当部署: 地区組織課
所在地: 富士宮宮農経済センター(富士宮市外神163-1)
電話: 0544-58-0090

組合員の皆さまの相続や生活面でのトラブルなどについて直接専門家にご相談いただけます。

税務相談会

6月11日(水)・25日(水)
7月9日(水)・23日(水)
13:00~
※開催日1週間前までの予約をお願いします。

会場
う宮～な会議室(富士宮市外神123) ※右記地図と同様
お問い合わせ・お申し込み 電話予約制
富士宮地区組織課 ☎0544-58-0090

法律相談会

6月17日(火)・7月15日(火)
13:30~
※開催日1週間前までの予約をお願いします。

会場
富士宮地区本部(富士宮市外神東町117 ※市民プール北側)
お問い合わせ・お申し込み 電話予約制
不動産相談センター富士宮店 ☎0544-58-0303

年金相談会

相談料無料

電話予約制
う宮～な会議室(富士宮市外神123)
6月14日(土)
9:00~15:00

予約受付
☎0544-58-0456(北山支店)
☎0544-54-0012(白糸支店)
☎0544-58-5300(富士宮中央支店)

持ち物
・年金手帳・基礎年金番号通知書・年金証書
・年金加入記録のお知らせ・印鑑・通帳

当JAで公的年金をお受け取りの皆さまへ

年金感謝ウィークのお知らせ

令和7年6月13日(金)~19日(木)

期間中、当JA支店にお越しいただいた皆さまに感謝の品をプレゼント!皆さまのご来店を心からお待ちしております。

場所 最寄りのJA各金融店舗(持ち物) 公的年金が振り込まれている通帳
※プレゼント品の数には限りがあります。
※詳しくはお近くのJA金融店舗にお尋ねください。



富士宮地区 営農アドバイザー紹介

富士宮営農経済センターの地区営農課では、本年度4人の営農アドバイザーを配置しています。

農家組合員の皆さまへの訪問活動と生産部会の指導運営で、農産物の品質向上や収量増加を図り、地域の農業振興と農家組合員の皆さまの農業所得向上につなげます。

茶担当
伊藤 学

イチゴ担当
佐野 零也

畜産担当
佐野 諒太

米担当
船山 祐希



お問い合わせ

富士宮営農経済センター

住所：富士宮市外神163-1 電話：0544-58-7182
営業時間：午前8時30分～午後5時(土日祝定休)

水稻現地講習会のお知らせ

**6月9日(月)～20日(金)に
水稻栽培 現地講習会を開催します。**

詳細につきましては、ふじのみや資材館・富士宮営農経済センター・富士宮地区各支店の店頭に掲示します。

***お米作りのご相談(生育・施肥や防除ついてなど)**

富士宮営農経済センター ☎0544-58-7182 ふじのみや資材館 ☎0544-58-7164 へ

ふじのみや資材館からの
今のイチオシ!
雨にも負けない!
農作業グッズ

ふじのみや資材館では、防水性や耐久性に優れたレインコート・レインズボンのほか、超軽量化された長靴、泥はねカバーなど雨の日にも大活躍する各種農作業グッズをそろえています!

各サイズ・色・柄ものもあるので、ぜひお好みのグッズを探しにご来店ください!



※販売金額・詳細は店内職員までお尋ねください。※在庫状況によっては、売り切れの場合があります。

ふじのみや資材館 職員紹介

私たちが皆さまからのご相談・ご要望にお応えします。
お気軽にお尋ねください!



後列：左から太田善雅・長谷川丑一
前列：左から望月清文・佐野恭介店長・望月邦男

お問い合わせ

ふじのみや資材館

住所：富士宮市外神102-5 電話：0544-58-7164
営業時間：午前8時～午後4時(火曜定休)

- 富士宮地区内のJA各支店で肥料農薬、農機部品などが注文できます!
- 原則、富士宮市内は無料配達! 商品のお取り寄せも承ります!



富士宮地区 女性部総会&青壮年部総会

富士宮地区の女性部・青壮年部は、4月にそれぞれ富士宮地区本部会議室で通常総会を開きました。

令和6年度の決算・事業報告のほか、令和7年度の事業計画などが承認可決されました。

女性部



あいさつをする佐野部長

コロナ禍から一部書面で行ってきたなか、本年度は本人出席100人、委任状203人の計303人で行われました。
佐野博子部長は、「家族に安全な物を食べさせたい」という願いがJA女性部の始まりという経緯に触れ、「この姿勢を次世代につなげる事が私たちの大きな使命。先人たちの知恵と汗と工夫を守りながら新しい農業に助けてもらい、地域農業を守っていききたい」とあいさつしました。

その後富士宮市社会福祉協議会や富士宮市地域女性連絡会の記念講演では、地域の歴史や福祉に理解を深めました。

青壮年部



あいさつをする久高部長

18人の部員が出席して行われた総会で久高拓馬部長は、令和5・6年度から始めた「フードサイクルコミュニケーション事業」を振り返り「市内小中学校の活動に野菜をマッチングさせることは、当初、不安もありましたが皆さまのご協力により、本事業を進めることができました」と感謝の言葉を伝えました。さらに近年の異常気象に触れ、「昔から農業を行う先輩方や盟友とともに、JA組織活動を通じて、必要な情報を集めながら備える力を養って欲しい」と呼びかけました。

本年度は新役員も承認され、新部長には荻真教さんが就任しました。



「本門寺堀-北山用水」の紙芝居を披露する富士宮市地域女性連絡会の皆さま



新役員の皆さま(左から土井喬涼副部长、荻真教部長、稲葉克仁副部长)